

づいて、各団地屋体の整備を実施されているが、事業とは別でも建設年度の古い公住庭のサークル・フェンスの整備はしないのか。

●町長答弁 ● 花段植木等を植えてある家庭もあり、さらに費用の問題もあつて、危険な場合は撤去しますが新たに要望があれば、縁石に交換するなど意向調査の上、対応します。

●町長に対して ● 今までのウェブカメラの利用率、さらに更新されるウェブカメラの性能はどの程度のものか。

●町長答弁 ● 現在のカメらは、平成13年度に導入し大雪山の眺望等を、町内外多くの方に好評にご覧いただいています。

更新をするカメラは、受けるパソコン側から画質・倍率・方位などを自在に設定でき、屋外監視用にも使用でき、ランニングコストも安く、高画質な画像を配信できるシステムです。

●教育長に対して ● 教職員一人ひとりの持ち味を生かす有機的な校務運営の組織化とありますが、実際どのような状況を目標とするのか伺います。

●教育長答弁 ● 教職員が教育の専門家としての資質・能力の向上を図ることまた校長や教頭がリーダーシップを発揮しながら、教職員と子供達がお互いに影響し合い、学校の組織運営体制の改善・充実に取り組みことを目指します。

●教育長に対して ● 中学生について、民間学習塾の講師による学力向上対策事業に対しての地元教員の意見はどうか。

●教育長答弁 ● 特に異論もなく、逆に好意的に受け止めていただいております。専門講師による講義を受講することで、受験に対する意識の高揚、志望校合格への支援事業と位置づけ今後、学校と連携を図りながら、支援をしていきます。

●教育長に対して再質問 ● 子供達の学力向上が最大の目的であります。民間学習塾に頼り過ぎ、偏りすぎないか、更に民間学習塾の営業につながらないか伺います。

●教育長再答弁 ● 平成24年度、新規事業でもあり長期にわたっての塾ということにもなりません。民間学習塾の営業には、ならぬよう配慮し、あくまでも受験対策支援事業と

ければと思っております。

今井明信 議員

●町長に対して ● ①平成24年より「遊湯びっぶ」が指定管理者制度により運営されます。

「グリーンパークびっぶ」「びっぶスキー場」との営業、サービス等、質の格差が生まれる事が心配です。2施設早期の指定管理者制度導入の是非を。②自治体が外部委託を行うケースが増えています。比布町は保育園、病院、高齢者施設、教育環境等、民間事業者が町民が必要とする業務を委託しております。

アウトソースをしても行政は管理責任と理念を持つべきと考えますが、町長の考え方を伺います。

●町長答弁 ● ①民間の考え、活力が導入され、今までにない営業展開により「遊湯びっぶ」とともに比布の顔として機能していければと考えます。

新たな運営方式については関係者と協議しながら決めていきたいと考えます。

②一定の考え方、管理責任を



持ち果たしていると認識していません。

●町長に対して再質問 ● 少子高齢化社会の中での医療費の高騰等、施設や病院に町としての理念、考え方が反映されていないと思えますが再度伺います。

●町長再答弁 ● 福祉サービスの提供にあたりケア会議を行っています。町の理念、考え方が十分でないのであれば、しっかりと伝えて進めてまいります。

●町長に対して ● 補助金の在り方は、人口構成、年齢構成や職業の割合も含めた優位性や妥当性を考えて支出すべきです。今は地方交付税も順調ですが、どこに比重を置き、考

いうふうな位置づけを行います。



遠藤正明 議員

●町長に対して ● 農作業受託組織の支援について、町執行方針の中で、法人化体質強化を促し、作業だけでなく、生産物に対する責任ウエイトを高め、品質要件も加えるなどの制度設計を行うと述べられていますが、具体的な考えを伺います。

●町長答弁 ● 高齢化や転作率40%等を考慮すると、土地利用型作物の生産強化が必要であり、その中で各受託組織の役割は大きいものがあります。新たな支援の形として、組織の体質強化のため法人

化を目指していただきたい。また一定の品質要件をクリアした受託部分に対しても支援していきたいと思っております。

●町長に対して再質問 ● 受託組織は品質の良い物も調整しなければならず、施設の設備投資に多額の投資が必要となります。ですが適切に受託組織に対する補助金を使用されているか、品質要件、各組織の事業報告書、収支決算書を精査することも一つの方法ではないかと思えます。

●町長再答弁 ● 比布の農業をしっかりとしたものにするためには、少しでも高品質の物を生産、調整していく事が基本だと思っております。なお、事業報告・決算報告についても当然いた、たくことになるかと思えます。

●町長に対して ● 太陽光発電に対する補助金制度を創設しましたが、公共施設等にも啓蒙も考慮し設置してはどうか伺います。

●町長答弁 ● 公共施設の設置については今後十分に検討させていただきます。可能であれば進めさせていただきます。

●町長に対して ● 「スキー場」については、今しばらく時間が欲しいと思っております。

●教育長に対して ● 卒業式・入学式などで教職員が国旗に対し起立せず、国歌を斉唱せず、退席するという事を耳にすることがあります。そういう行動をした教職員を厳罰に処するという自治体もあるようです。

いわゆる教育現場での日の丸・君が代問題ですが、教育長に基本的な考え方・方針をお聞かせ願いたいと思えます。

●教育長答弁 ● このことについては、これまでも我が国の国旗・国歌の意義を理解させ、これを尊重する意識を育て、諸外国の国旗・国歌も同様に尊重する意識を育てる観点から学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切な実施が求められています。

平成11年8月に「国旗及び国歌に関する法律」が施行され、学校教育における国旗・国歌に対する正しい認識が進められています。本町においても、国・文部科学省、道の学習指導要領に基づいた、国旗・国歌に関する指導が適切に行われるよう指導していきたいと考えています。

中本 諭 議員

●町長に対して ● 「びっぶスキー場」と「グリーンパークびっぶ」の今後の運営の方向性について伺います。この2施設について、今後、時期・状況によっては、指定管理へ移行するのか、直営を続けるのかお伺いします。

●町長答弁 ● 「遊湯びっぶ」が4月から指定管理でスタートします。新たな経営手法と民間の活力が生かされてお客様により愛される「遊湯びっぶ」へと変わっていくんだと思えます。

しかし、指定管理へ移行すれば全てがうまくいくとは思っていません。議員・関係者等と議論を重ねていきたいと思っております。「グリーンパークびっぶ」については、指定管理の方向で検討を進めたいと思えますが、「ス